

小学生は  
入場無料!

# ヨコハマトリエナーレ 2017 島と星座とガラパゴス

会期 2017年8月4日(金) - 11月5日(日)

会場 横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜市開港記念会館地下ほか

休み 第2・第4木曜日 時間 10:00 - 18:00 (最終入場17:30)  
※10/27-29、11/2-4の6日間は20:30まで (最終入場20:00)

MAP & ACCESS

**★ 横浜美術館**  
みなとみらい線「みなとみらい駅」3番出口から徒歩3分  
JR線および横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から〈動く歩道〉利用、徒歩10分

**★ 横浜赤レンガ倉庫1号館**  
みなとみらい線「馬車道駅」または「日本大通り駅」徒歩6分  
JR線および横浜市営地下鉄線「関内駅」または「桜木町駅」徒歩15分

**★ 横浜市開港記念会館**  
みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩1分  
JR線および横浜市営地下鉄線「関内駅」徒歩10分

【お問い合わせ】 ハローダイヤル 03-5777-8600 (8:00-22:00) / [www.yokohamatriennale.jp](http://www.yokohamatriennale.jp)  
【発行】 横浜トリエンナーレ組織委員会  
220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内 / TEL:045-663-7232 / FAX:045-681-7606  
【デザイン】 宮川洋平 (bulwark) 【印刷】 野毛印刷社

小学生のための

# ヨコトリ 2017を もっと楽しむ! かんしょう 鑑賞ポイント ガイド

この鑑賞ポイントガイドはヨコハマトリエナーレ2017を楽しむヒントとなるよう、制作したものです

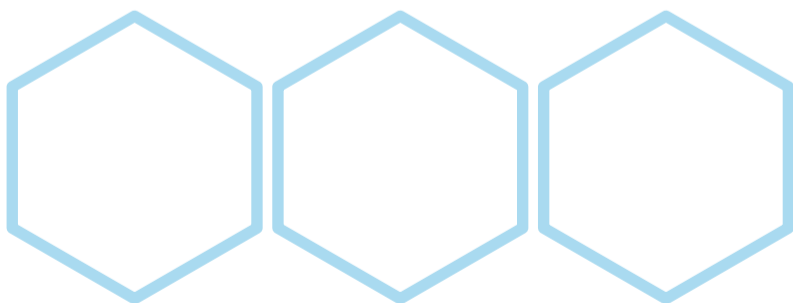
ヨコハマトリエナーレ2017  
島と星座とガラパゴス



## 「ヨコハマトリエナーレ2017」はじまる!!

横浜トリエンナーレは、横浜で3年に1回ある  
びじゅつの大きなてらんかいです。今年も8月4日から  
「ヨコハマトリエナーレ2017」がはじまります!  
てらんかいの題名は「島と星座とガラパゴス」です。  
ふしぎな作品がたくさんあります。ぜひ見に来てください。

## 3つの会場でスタンプしよう!



よこはまびじゅつかん  
横浜美術館

よこはまあかれんがそうこいちろうかん  
横浜赤レンガ倉庫1号館

よこはましかいこうきねんかいかん  
横浜市開港記念会館

## 「島と星座とガラパゴス」って何だろう?

みなみたいへいよう しまじま  
南太平洋にうかぶガラパゴスの島々にはガラパゴスゾウガメ  
やウミイグアナみたいな、ほかにはいない動物がいます。  
そんなふうに、海の中にあるひとつひとつの小さな島には  
ほかとはちがうとくべつな世界があります。

わたしたちも、ひとりひとりがちがっていて、ひとりひとりが  
とくべつです。そして、みんなひとりひとりがちがうとい  
うことは、とても大切なことです。

昔の人は夜空にかがやくひとつひとつの星をつなげて星座の  
ものがたり  
物語をつくりました。みなさんもヨコハマトリエナーレ  
のてらんかいで色々なものをつなげて、あたらしい物語を  
いろいろ  
見つけ出してください。





ジョコ・アヴィアント《大きな木々》2015

ジョコさんが横浜に来て、びじゅつかんの中に新しい作品を作ってくれるよ!

### 2 大きなうねうねの正体は!? しょうたい 美術館

たてものの入口からみついているものは何でしょうか?

何で作られているかわかりますか?

これは、竹を曲げたり、あんだりして作った大きな作品です。

竹があっちこちにのびて、今にも動き出しそう!

作者のジョコさんは、だれもが知っている竹をつかって、

びっくりするくらい大きなびじゅつ作品を

作っちゃうんだって!

### TOPICS 亀蔵をさがせ! かめぞう 美術館

古い写真のようですね。この人は「亀蔵さん」。今から160年くらい昔むかし、乗っていた船が嵐にあってしまった亀蔵さんは、アメリカの船に助けられ、そのままアメリカへ。長い間日本に帰ることができなくなってしまいました。これは、まだ日本では写真が知られていなかった時代に、アメリカでとられたんだって。亀蔵さんは、写真にとられた最初の日本人のひとりだといわれているんですよ。

ハーヴェイ・R・マークス《栄丸船員 亀蔵 (COMMETHO)》1850-51年(嘉永3-4年) 横浜美術館蔵



とても小さい作品だよ。どこにあるか見つけてね!

### 2 カラフルなクマ!? 美術館

黄緑色とむらさき色のクマなんて見たことある!?

よく見てみると、鳥の羽でおおわれています。

野生のクマにとって、生きていくのはとてもたいへん。

しぜんがこわされているため、住むところや、

食べるものも少なくなっているんです。

しぜんの中に住んでいるはずのクマたちは、

びじゅつかんで何をしているのかな?

びじゅつかんには、ほかの色のクマもいるよ!



パオラ・ピヴィ《I and I (芸術のために立ち上らねば)》2014  
Photo:Guillaume Ziccarelli / Courtesy of the Artist & Perrotin

### 3 大きな目はあのかいじゅうの目!? かいじゅう 開港記念館

すてられた木やイスなどの間からこちらをのぞく

ギョロツとした大きな目。作品の題名を日本語にすると

「プロジェクト・ゴジラー目のある風景一」。

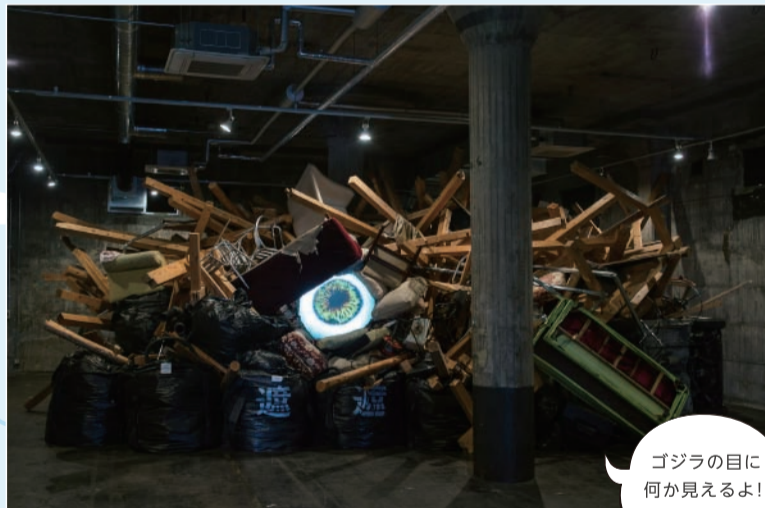
これはあのかいじゅうの目なのかな?

ゴジラーは、人間が海でおこなったばくだんの実験によって

生まれたかいじゅうです。

最後には、人間にたいじされてしまいます。

このゴジラーは、その大きな目で何を見ているのかな?



柳幸典《Project God-zilla - Landscape with an Eye -》2016  
Photo by Tatsuhiko NAKAGAWA

ゴジラーの目に何か見えるよ!のぞいてみてね。

## ヨコハマトリエンナーレ2017で体験してほしいこと たいけん

**1 会場に行って、本物に会おう**  
ものすごく大きかったり小さかったり、近づいてみるとデコボコだったり、ザラザラだったり。作品の数もたくさんあります。写真ではわからない作品のパワーを感じてみましょう。

**2 よく、見てみよう**  
少し見ただけではヘンテコに見える作品にも、作者の考えや思いがこめられています。社会の問題かもしれないし、あるいは個人的なことかもしれません。ちょっと立ち止まって想像してみてくださいね。

**3 わからなくてもいい 急がばまわれ**  
会場ではナゾはナゾのままでも、わからない事もふくめて楽しみましょう。考えたり、本を読んだり、だれかと話しているうちに「ナルホド!」と気づくかもしれません。

**4 一人でみる? だれかとみる?**  
思いをめぐらせながら一人で見るとすてきだけど、他の人とお話をしてべつの見方を知れば、また新しい発見がふえていきます。

### 会場で大事にしたいマナー

- 作品にはさわらない  
作品はとてもデリケート。額やケース、壁にもさわらないで。
- 会場では走らない  
作品や他の人にぶつからないように、会場ではゆっくり歩こう。
- 大きな声に注意しよう  
一人で静かに鑑賞したい人もいます。お話する時は小さい声で。
- メモは、えんぴつで  
ボールペンや、シャープペンシルは使えません。貸出用のえんぴつがあります。